

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）について

1. APN の概要

APN は、アジア太平洋地域における地球環境に関する国際共同研究を推進していくため、1996（平成 8）年に正式に発足した政府間ネットワーク（政府間機関）である。事務局は発足以来、我が国が務めている。（APN センター：神戸）

2. 参加国（2009 年 4 月末現在 21 カ国）

豪州、バングラデシュ、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、ロシア、スリランカ、タイ、米国、ベトナム

3. 目的

- ・アジア太平洋地域における地球変動に関する国際共同研究の推進
- ・地球変動研究に係るデータの標準化、収集、分析、交換
- ・開発途上国の科学的能力の向上
- ・他地域のネットワークとの協力促進 等

4. 主な研究領域

- ・気候
- ・生態系、生物多様性、土地利用
- ・大気圏、陸域圏、海域圏の変化
- ・資源（食糧、水、エネルギー、物質）の利用と持続可能な開発への道筋
- ・横断的分野及び科学と政策の連携

5. プログラム

APN では、以下の 2 タイプのプログラムについて、プロジェクトを公募し、支援を行っている。

- ・公募型共同研究プログラム（ARCP）
- ・開発途上国の研究能力開発・向上プログラム（CAPaBLE）